○東京都下水道局企業職員の勤務時間、

休日、休暇等に関する規程の一部を改正

日刊 (日曜日、 土曜日、



東京都

目 次

74

規 程 水

○東京都水道局職員の勤務時間、 休日、 休暇等に関する規程の一部を改正する規

○東京都水道局会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規程の一部を改正

○東京都下水道局会計年度任用職員の勤務時間、 休暇等に関する規程の一部を改

○東京都議会議会局会計年度任用職員の勤務時間、 休暇等に関する規程の一部改

四四

○東京都職員共済組合の職員に関する規程の一部を改正する規程……………… (東京都職員共済組合)…三

規

程 水

●東京都水道局管理規程第二十号

1 のように定める。 東京都水道局職員の勤務時間、休日、 休暇等に関する規程の一部を改正する規程を次

令和七年六月三十日

Щ \Box

真

東京都水道局職員の勤務時間、 休日、 休暇等に関する規程の一部を改正す

理規程第四号) 東京都水道局職員の勤務時間、 の一部を次のように改正する。 休日、休暇等に関する規程 (平成七年東京都水道局管

第三十二条の二第四項中 「次条」を「次条第三項」に、 「第三十四条」を「第三十

条第三項」に改める。

職員」に、 を「承認されて」に改め、同項を同条第十項とし、同条中第五項を第九項とし、第四項 同項第三号を削り、 中「して」を「承認されて」に、「について当該子育て部分休暇に係る子以外の子に係 項」を「第九項」に、 勤務しない時間」を削り、同項を同条第五項とし、同項の次に次の二項を加える。 を第八項とし、同条第三項中「の承認を受けて勤務しない職員」を「を承認されている る子育て部分休暇を承認しようとする」を「が第六項の規定による変更をした」に改め、 条第十二項とし、同条第七項中「事由」の下に「のいずれか」を、「ときは、」の下に 条中第九項を第十三項とし、同条第八項中「して」を「承認されて」に改め、 - 既に承認した」を加え、同項第一号中「して」を「承認されて」に改め、同項第二号 第三十二条の三第一項中「一部」を「全部又は一部」に改め、同条第十項中 「子育て部分休暇」を「第一号子育て部分休暇」に改め、 同項を同条第十一項とし、同条第六項第一号及び第二号中「して」 「第八項」を「第十二項」に改め、同項を同条第十四項とし、同 「の承認を受けて 同項を同 第

6 居したことその他の同項の規定による申出時に予測することができなかった事実が生 が負傷又は疾病により入院したこと、配偶者又はパートナーシップ関係の相手方と別 容を変更することができる。 じたことにより当該申出の内容を変更しなければ当該職員の当該申出に係る子の養育 に著しい支障が生じると所属長が認める特別の事情がある場合に限り、当該申出の内 第二項の規定による申出をした職員は、配偶者又はパートナーシップ関係の相手方

7 変更をした場合にあっては、 第二項の規定による申出をした職員は、当該申出をした範囲内(前項の規定による その変更後のもの)において、 子育て部分休暇 項

できる。 に規定する子育て部分休暇をいう。以下この条において同じ。)の請求をすることが

内で」を削り、同項を同条第三項とし、同項の次に次の一項を加える。め、「、正規の勤務時間の始め又は終わりにおいて、一日につき二時間を超えない範囲め、「、正規の勤務時間の始め又は終わりにおいて、一日につき二時間を超えない範囲が、「、正規の当務時間の始め又は終わりにおいて、一日につき二時間を超えない範囲が、「第一号子育て部分休暇」という。)」に改第三十二条の三第二項中「子育て部分休暇」を「前項第一号に掲げる範囲内で請求す

号子育て部分休暇を承認することができる。
ただし、次の各号に掲げる場合にあっては、それぞれ当該各号に定める時間数の第二ただし、次の各号に掲げる場合にあっては、それぞれ当該各号に定める時間数の第二
第二号子育て部分休暇」という。)の承認は、一時間を単位として行うものとする。
4 第二項第二号に掲げる範囲内で請求する第一項に規定する子育て部分休暇(以下

二 第二号子育て部分休暇の残時間数に一時間未満の端数がある場合であって、当該当該勤務時間の全てについて承認の請求があったとき 当該勤務時間の時間数一 一回の勤務に係る日ごとの勤務時間に分を単位とした時間がある場合であって、

2

残時間数の全てについて承認の請求があったとき 当該残時間数

第三十二条の三第一項の次に次の一項を加える。

とする。
とする。
とする。
とする。

一 一日につき二時間を超えない範囲内

引)と召よない范围引年前再任用短時間勤務職員の勤務日一日当たりの勤務時間数に十を乗じて得た時年前再任用短時間勤務職員の勤務日一日当たりの勤務時間数に十を乗じて得た時二 一年につき七十七時間三十分(定年前再任用短時間勤務職員にあっては、当該定

一 一週間の所定の勤務日数が三日以上、一月の所定の勤務日数が十一日以上又は一の時間に限る。)」を「全部又は一部」に改め、同項第一号を次のように改める。規程において同じ。)にあっては、三歳)」を削り、「一部(二時間を超えない範囲内規程において原じ。)にあっては、三歳)」を削り、「一部(二時間を超えない範囲内

年間の所定の勤務日数が百二十一日以上である非常勤職員以外の非常勤職員

(定年

12

5再任用短時間勤務職員を除く。次項を除き、以下この条及び次条において同

Ú

前

に改め、 る範囲内で請求する第一項に規定する部分休業(以下「第一号部分休業」という。)」 業」に改め、同項を同条第四項とし、同条第二項中「部分休業」を「前項第一号に掲げ する」を「第十二項の規定による変更をした」に改め、 をしている職員について当該部分休業に係る子以外の子に係る部分休業を承認しようと 休業」に改め、 第六項を第七項とし、第五項を第六項とし、 項を加える。 第三十四条中第九項を第十項とし、 「の始め又は終わり」を削り、 同項を同条第五項とし、 第八項を第九項とし、 同項を同条第三項とし、 同条第三項中「部分休業」を「第一号部分休 同条第四項中「部分休業」を「第 同項を同条第八項とし、 第七項第二号中 同条第一項の次に次の 同条中

範囲内で当該期間における部分休業を請求するかを所属長に申し出るものとする。月三十一日までの期間ごとに、あらかじめ、次の各号に掲げる範囲内のうちいずれの第一項の規定による部分休業の請求をしようとする職員は、四月一日から翌年の三

一日につき二時間を超えない範囲内

一日当たりの勤務時間数に十を乗じて得た時間)を超えない範囲内二 一年につき七十七時間三十分(非常勤職員にあっては、当該非常勤職員の勤務日

第三十四条に次の三項を加える。

当該勤務時間の全てについて承認の請求があったとき 当該勤務時間の時間数一 一回の勤務に係る日ごとの勤務時間に分を単位とした時間がある場合であって、

数の全てについて承認の請求があったとき。当該残時間数二、第二号部分休業の残時間数に一時間未満の端数がある場合であって、当該、

が負傷又は疾病により入院したこと、配偶者又はパートナーシップ関係の相手方と別第二項の規定による申出をした職員は、配偶者又はパートナーシップ関係の相手方

東京都公報

	休日給又は夜超勤代休時間		超勤種別	(月間計:3	各月間計:上	・年次有給休暇の時間	• 年次有給	 当該超勤 	・当該超勤	・超勤代休	超勤代休時間を請求する日、 勤代休時間を請求する時間等			課長代理				7		Д		7	- 1	д		Д		Я		勤務月日 6			
	動手当のみ の取得は、	3:待機勤務	1:超過勤務	10分以上は	.段は実延時	休暇の時間	休暇に連続	代休時間を	代休時間を	・超勤代休時間を請求する日	を請求する 請求する時			無	確認															合合 古	-		
	の記載は、種別原則として待機			(月間計:30分以上は切上げ、30分末満は切捨て)	間・分を記入、		・年次有給休暇に連続して指定する場合	当該超勤代休時間を請求する時間	・当該超勤代休時間を請求する日の正規の勤務時間	† 5Ⅱ	日、当該超勤代 問等	超勤代		給与担当者		時 分まで	時 分から	時 分まで	時 分から	時 分まで	時 分から	時分まで	時 分から	時分まで	時 分から	時 分まで	時 分から		時 分から	勤務時間			
	休日給又は夜勤手当のみの記載は、種別を空欄とすること。 超勤代休時間の取得は、原則として待機勤務を優先すること	0時間超の待機勤	0時間超の超過勤	未満は切捨て)	下段は1時間未満		П		規の勤務時間		休時間を請求する	超勤代休時間の管理		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		時 分まで	時 分から	き 時 分まで	時 分から	? 時 分まで	時 分から	時 分まで	時 分から	時 分まで	時分から	時 分まで	時 分から	平	時 分から				
	r °	4:60時間超の待機勤務(混在する場合を含む。)	2:60時間超の超過勤務(混任する場合を含む。)		各月間計:上段は実延時間・分を記入、下段は1時間未満の端数処理後の時間を記入	: ~ : (時間)	時間 2		<i>t</i>	年 月 日	当該超勤代休時間を請求する日の正規の勤務時間、当該超			管理職員特別勤務手当																勤務內容			
				待機勤務月間計 (超勤種別 3 + 4)		~	分 時間	?		#	超過勤務月間計 (超勤種別1+2)		回	6時間超	午後10時から翌日の午前5時までの間 (週外日又は外日に含まれる時間を除く。)															従事職員 課長代理	確認		
				4)		(時間)	分			Я	· 2)			6時間以下	の午前5時: まれる時間:															命令者			
	100分 ⊘125	專			時間分			Ø125	100%	時間		時間分	Þ		100円 (100円)															100分 の125			
	0150 Ø150	墨墨			時間分			Ø150	100分	時間		時間分上	回	6時間超	遊体														_	0051 <i>©</i>	超過		
	100分 ⊘135	時間			時間公			Ø135	100分	時間				6時間以下	週休日又は休日															100分 の135	超過·待機勤務		
	091 <i>C</i> 0	時間			時間分	ı		Ø160		時間		時間分開	▣	J.F.															7	091 <i>©</i> \$001	244		
								Ø100	1005	時間		時間分		₽ T	時間															00100			
													泰田		間 分 時間														7	100 025 0	減額調整		
													華		## \$		120	午前	- A	午前	E A	午前	±X	午前	100	午前	ш	午前	B	100分 措			
																午前・午後	全 目	午前・午後	全目	下前·午後	全田	午前·午後	±> □	午前・午後	静田	干前·午後	全田	午前・午後	全田	措置月・	調け過休口・	_æ	
超數/ 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2003年 2						(A)	超數代						平平		專門														平田	H 100分 ⊘25	1・休日の変	名	
超勤代休取得後の 端数時間 (待機勤務)						(超過勤務)	:休取得後の :参唱画						郵 本 郵		分 時間 5														4) 100 <i>5</i> }	休日の変更休日勤務		
Α	-					₩							翠		分時間分														時間分	100分 の25	夜勤		
超勤代休取得後の80超待機勤 務手当対象時間	超勤代休		超勤代		/ -	務手当対象時間	拉米沙備	(取)	超勤代体	<u></u>	a a b a b a b a b a b a b a b a b a b a	 																	時間分時	億 指案開布等 90 有支戴房99			
导後の60超年 当対象時間	超勤代休取得予定時間 (取得内訳)	双待回)	超勤代休换算時間	<u> </u>		当対象時間	場の60超ま	(取得内訳)	取得予定時	(取得前)	· · · · · · · · · · · · · ·																		時間 分時間	妥倫 提落 (妥(嗪) 第09 要(発) 第09	無計		
	34		44		\$		6週勤		時間			_																	り 分 時間	60超(待機 換算割合 勤務)累計 0,25	604		
問	が時間	>	分時間	- 時間		時間			分時間		時間時間																		分時間	割合 換算割合 25 0.15	60超超過·待機勤務内訳		
琴世	R	4	#	型型		群間			Ø	l	<u> </u>																		分 時間 分	1	蹇		-1

5

を「第34条第3項」に改める。 別記第六号様式を次のように改める。 別記第四号様式の二俵中「第32条の3」を「第32条の3 第3 嵐」に改め、 「第34条」

> 第6号様式 (第34条関係) (第1面)

	l	
	部分休業の請求に係る申出	
1	請求	
;	に発	
2	る甲	
į	圧	
1		

빯
Œ
₹
綝
承
慰
1111
*

4		C	ى		12			1					
部分休業中 の育児時間	変矩 (第2回目)	計劃	変更 (第1回目)	ੇ 메	田田田			請求に係る子		次のとおり部分休業の承認を請求します。			
华	Д	変更月日	ДП	変更月日	月日	申出月日	生年月日	続柄	氏 名	業の承認を請求			
分から		申出の内容 (①又は②)		申出の内容 (①又は②)		申出の内容 (①又は②)				します。		爂	
時分まで		変更が必要な事情		変更が必要な事情	②1年につき77時間30分(非常勤職員は勤務日1日当たりの勤務時間数に10を乗じて得た時間)を超えない範囲内	※申出の内容(変更後の内容も共通) (①1日につき2時間を超えない範囲内	年月				氏 名	所 属	申出対象期間
		特別な事情 の 有無		特別な事情の有無	(30分 (非)務時間 ない範囲	後の内容を持ちまれた。	日生						单
		所属長		所属長	常勤職員は勤 数に10を乗じ 日内	(変更後の内容も共通) 2時間を超えない範囲内							年度

បា

備光

- 1 請求に当たっては、母子健康手順、住民票等を提示すること。
 2 請求に係る子について、職員以外の当該子の親が部分休業等の制度の適用を受けている場合は、「5 備考」欄に記入すること。
 3 第1号部分休業承認の請求の場合は第2面、第2号部分休業の承認の請求の場合は第4面を用いること。
 4 第1号部分休業の承認について、職員の請求に基づき変更又は取消しを行った場合は、その旨を第3面に記入すること。
 5 該当する口には、レ印を記入すること。

(日本産業規格A列4番)

(第2面)
第1号部分体業の承認の請求

(第3面) 第1号部分休業の承認の変更又は取消し

										月日
ДД	月月	- 足	正正	正正			見見	且足	1000	
田からでまた	S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	日 う う た ま う	田 から でま で	日からのま	H S S S S	田 から ろり	日 で で で に で に に に に に に に に に に に に に に	日本での本田	田まつの	期
	~ 0 0	~ 0 0	~ 0 0			~ 0 0	~ 0 0	~ 0 0	~ 0 0	
年のの一日の	年 田 高 (田の色の色の	年 日 色)	田の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色	年 田 高 (田の色の	年 日 一 つ う (用 田)	年 田 含 (間
平 平	平 平	平 平	平 平	平 平	平 平	平 平	平 平	平 平	平平	
かからつま分	分から 分まで	分かなりまた	分かなから	分からかまで	分からかまた	分かなった。	分 す で た ま た	分から分まで	分から分まで	- 44
再 平	平 平	事 事	事 事	平 平	平 平	平平	平平	車 車	再 平	畫
分から分まで	分から分まで	分から分まで	分から分まで	分から分また	分から分まで	分から分まで	分から分まで	分から分まで	分から分まで	
										所属長

	± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±	がま分してまる	郡.	思 分まぐ		田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		受消し	
	開課	分から	罪	時 分から				楽画	
	分	分まで	罪					取消し	
	時間	分から	平	時 分から				淡更	
	分	分まで	罪			_		取消し	
	問	分から	平	.,.		月 目から	Э	突更	
	分	分まで	邢	"	H		t	取消し	
	時間	分から	悪	時 分から		月 日から	Д	変更	
	分	分まで	罪	寺 分まで				取消し	
	再置	分から	靐	時 分から		日から		変 更	
	分	分まで	罪	寺 分まで				取消し	
	再理	分から	罪	時 分から		日から		変更	
	分	分まで	平					取消し	
	野田	分から	罪	時 分から				変更	
	分	分まで	平					取消し	
	時間	分から	畢	時 分から			_	変更	
	分	分まで	靐					取消し	
	時間	分から	罪	時 分から			Э	麥用	
	H	分まで	平					取消し	
	時間	分から	平	時 分から				数更	
	分	分まで	靐	時 分まで		月 日まで		取消し	
	時間	分から	罪					変更	
	分	分まで	靐	時 分まで		月 日まで	Я	取消し	
	時間	分から	丰				(変更	
	分	分まで	平	時 分まで		月 日まで		取消し	
	時間	分から	靐				Д	変更	
	分	分まで	罪			シギ目		取消し	
	問	分から	靐					変更	
	分	分まで	平	時 分まで		日まで		取消し	
	時間	分から	畢	時 分から				変更	
	分	分まで	平			月 日まで		取消し	
	時間	分から	郡	時 分から				変更	
	分	分まで	罪			で来日		取消し	
	問却	分から	靐					変更	
	分	分まで	罪			が発用	Э	取消し	
	時間	分から	罪					変更	
	分	分まで	罪				_	取消し	
	間押	分から	罪					変更	
	A	分まで	平	時 分まで			Э	取消し	
	間押	分から	罪	時 分から				換更	
	分	分まで	罪			月 日まで		取消し	
	時間	分から	平	時 分から				麥更	
	HI XX [H] VY		噩	#		期間		Ţ 2	ЯП
_	_						I	×ì	

Ħ

1 請求に当たっては、母子健康手帳、住民票等を提示すること。
2 請求に係る子について、職員以外の当該子の親が子育て部分休暇等の制度の適用を受けている場合は、「4 備考」欄に記入すること。
3 第1号子育で部分休暇の承認の請求の場合は第2面、第2号子育で部分休暇の承認の請求の場合は第2面、第2号子育で部分休暇の承認の4 第1号子育で部分休暇の承認について、職員の請求に基づき変更又は取消しを行った場合は、その旨を第3面に記入すること。
場合は、その旨を第3面に記入すること。

(日本産業規格A列4番)

7	令和7年6月30日	

粉4囲)
另 4 与 即 对 I 不 表 少 失 态 v
一語が

	分	分	分まで	平		
	間相	間相	分から	平		
	分	分	分また	乖		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	再		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	畢		
	再問	時間	分から	專		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	專		
	分	分	分まで	再		
	時間	時間	分から	時		
	分	分	分まで	平		
	問得	時間	分から	冄		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	專		
	時間	時間	分から	棏		
	分	分	分まで	畢		
	時間	時間	分から	專		
	分	分	分まで	再		
	問却	時間	分から	平		
	分	分	分まで	平		
	間押	平置	分から	平		
	分	分	分まで	平		
	問却	再期	分から	平		
	分	分	分まで	畢		
	問却	時間	分から	平		
	分	分	分ま分	平		
	問却	時間	分から	丰		
	分	分	分まで	罪		
	問制	時間	分から	畤		
	分	分	分まで	平		
	問得	時間	分から	平		
	分	分	分まで	專		
	時間	時間	分から	再		
	分	分	分まで	平		
	間組	時間	分から	專		
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\) Y	請求時間数	==	丰	Я П	ДН
中風中	を 計 計 数					

別記第八号様式を次のように改める。

第8号様式 (第32条の3関係)

(第1面) 子育て部分休暇の請求に係る申出

4		С	ن		1/2	>		Н		E.				
備考	変更 (第2回目)	} H	发史 (第1回目)	計 田	Ξ	1		請求に係る子		次のとおり子育て部分休暇の承認を請求します。				7 7
	Л Н	変更月日	ЛП	変更月日	Я П	申出月日	生年月日	続柄	氏 名	部分休暇の承認さ				育て部分
		申出の内容 (①又は②)		申出の内容 (①又は②)		申出の内容 (①又は②)				を請求します		爂		休 暇 承
		変更が必要な事情		変更が必要な事情 物診輔の有無	②1年につき77時間30分(非常動職員は動務日1日当たりの勤務時間数に10を乗じて得た時間)を超えない範囲内	※申出の内容(変更後の内容も共通) ①1日につき2時間を超えない範囲内	年 月 日生			0	氏 名 	所 属	申出対象期間 年度	閣 請 米 書
		所属長		所属長)動職員は動 に10を乗じ 写	5.共通)							к т.	

(第2面)

第1号子育で部分休暇の承認の請求

請求 子育? 月日 期 間	月 日から 月 日まで	月 日から 月 日まで	日から	用 ド ド	田田 サ せ る で る る	田田 田田 田田 世本 なま ない くっち くっち くっち くっち くっち とっち とっち とっちん	田田 田田 田田 田田 まかま かま で らで らで らで らで らで	田田 田田 田田 田田 田田 世本 がま がま で らで らで らで らで らで らで こうで こうで こうでんしょう しゅうしゅう しゅう	日日 日日 日日 日日 日日 日日 日 日日 日日 日 日日 日日 日日 日日	日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 ひま かま かま かま かま かま かっち らっち らっちっちっちゃい
で部分休暇の承間	田田田の名の名	□ 毎 日 □ その他 ()		田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田						
子育で部分休暇の承認の請求をする期間	時 分から 時 分まで	時 分から 時 分まで	時 分から 時 分まで		専 分から 等 分まで					
選	時 分から 時 分まで	時 分から 時 分まで	時 分から 時 分まで							
所属長										

大学 一	調米	ব \$	変更又は耳	変更又は取消しを行った日・時間	*************************************
田田 日本のの は 分がの は 日田 日本のの は 日本 日本 日田 日本のの は 日本 日本 日田 日本のの は 日本 日田 日本のの は 日本 日本 日田 日本のの は 日本	ЯН	KA			
日田東で 母 分束へ 母 日 日 まで 母 母 分 から 日田 田 から の 母 母 の かま 日田 田 ま で 日田 田 ま で 日田 田 ま で の 母 の から の 母 母 の かま 日田 田 ま で の 母 母 の かま 日田 田 ま で の 母 母 の かま で 日田 田 ま で の 母 母 の かま で 日田 田 ま で の 母 母 の かま で 日田 田 ま で の 母 母 の かま で 日田 田 ま で の 母 母 の かま で 日田 田 ま で の 母 母 の かま で 日田 田 ま で の 母 母 の かま で 日田 田 ま で の 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母		変更	_	分から 時	時間
田田 日 2 からの 日 日 2 かららの 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		取消し		分まで、時	分
田田 世		変更		分から、時	時間
田田 田		取消し		分まで、時	分
田田 世		変更		分から 時	時間
日 日 3 からの 日 1 日 3 からの 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		取消し		分まで、時	分
田田東 のからの 時 のかまと 中 日 世 会会 日 日 世 会会 日 日 世 会 会 日 日 日 まって 日 日 世 会 会 日 日 日 まって 日 日 まって 日 日 日 まって 日 日 まって 日 日 日 まって コ まって コ まって 日 日 まって コ まっ		変更		分から 時	時間
日 日 日 次 の の は の か の の は の か の の は の か の は の は の		取消し		分まで、時	分
田田東で 母母 分まで 日田東 公共で 母母 分から 日田東 で の 世 の かま で 日田 まで 母母 の さら で 母母 日まで 母母 の さら で の 母の から の 母の から の 母の から の 母の から の 母の かま で 日田 田 まって 母母 の まって で の 母の から の 母の かま で 日田 田 まって 母母 の かま で 日田 田 まって 母母 から で 母母 の かま で 日田 田 まって 母母 の かま で 母母 母 か かま で 母母 の か ま で 母母 の かま で 母母 母母 か かま で 母母 か かま で 母母 か か ま で 母母 の か ま で 母母 母母 か か ま で 母母 の か ま で 母母 母母 で の かま で 母母 母母 で か 母母 母母 母母 で の 母母 か かま で 母母 母母 か かま で 母母 母母 で か 女母 母母		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 月 日まで 時 分まで 日 日まから 時 分まで 日 日まからから 時 分まで 日 日まから 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで		取消し		分まで、時	分
田田東で		変更		分から 時	時間
月 日まで 時 分から 月 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まから 時 分まで 日 日まっ 時 分まで 日 日まっ 日 分まで 日 日まっ 日 日まっ 日 日まっ 日 日まっ 日 日まっ 日 日まっ 日 日まっ 日 日まっ 日 日まっ 日 日まっ <t< td=""><td></td><td>取消し</td><td></td><td>分まで、時</td><td>分</td></t<>		取消し		分まで、時	分
田田東で		変更		分から 時	時間
田田次の 時 分から 時 分すら 日 日まで 時 分すら 日 日まで 日 日 日まで 日 日 日 まで 日 日 まで 日 日 日 まで 1		取消し		分まで、時	分
田 日まで 母 分まで 母 分まで 母 のからの 母 母 のからの 母 母 のからい のっちょうの 母 母 のからい 母 母 の 母 の 母 の 母 の 母 の 母 の 母 の 母 の 母 の		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分から 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分から 時 分まで 日 日まで 時 分から 時 分まで 日 日まで 時 分から 時 分まで 日 日まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 時 分から 時 分まで 時 分まで 時 分から 時 分から 時 分から 時 分よで 時 分から 時 分まで 時 分から 時 分から 時 分まで 時 分から 時 分から 時 分かさで 時 分から け で かまで 時 分から け で かまで け で かまで け で け で け で け で け で け で け で け で け で かっさつ け で かまで かまで かまで か け で け か かきで け か かきで け で か かきで か け で か か け で か か け で か か け で か か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か け で か け で か け で か か け で か か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か け で か か け で か け で か け で か け で か か け で か か け で か か け で か か け で か か か か		取消し		分まで、時	分
田田まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分から 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分から 日 日 日まで 時 分から 日 日 1 まっつ 時 分まで 日 日 1 まっつ 時 分まで 日 日 1 まっつ 時 分まで 日 日 1 まっつ 日 1 日 1 まっつ 日 1 日 1 まっつ 日 日 1 まっつ 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まから 時 分まで 時 分まで 月 日まっ 日 分まで 時 分まで 月 日まっ 日 分まで 日 分まで 月 日まっ 日 分まで 日 分まで		取消し		分まで、時	分
田田まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分から 時 分から 日 日まで 時 分から 日 日まで 日 日まで 時 分から 日 日まで 日 日まで 時 分から 日 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 日 日まで 日 日 分から 日 日 分 かまで 日 日 から 日 日 から 日 日 から 日 日 日 日 日 日 日 日 日		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分から 時 分まで 日 日まで 時 分から 時 分まで 日 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 日 日 分から 日 日 分から 日 日 分 かまで 日 日 かまで 日 日 かまで 日 日 か かまで 日 日 か かまで 日 日 か か に 日 か か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 か に 日 に 日		取消し		分まで! 時	分
月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 月 日まで 時 分から 月 日まで 時 分から 月 日まで 時 分から 月 日まで 時 分歩で 月 日まから 時 分歩で 月 日まから 時 分歩で 月 日まから 時 分歩で 月 日まっ 時 分歩で 日 分歩で 時 分歩で 日 分歩で 時 分歩で 日 分歩で 時 分歩で 日 日本っ 日本のかまで		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分から 時 分まで 日 日まで 時 分から 時 分まで 日 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 日 日 かから 日 日 からから 日 日 からさで 日 日 からさで 日 日 からさで 日 日 からさで 日 日 からさい 日 日 からさい 日 日 からから 日 日 日 からから 日 日 日 からから 日 日 日 から 日 日 日 日		取消し		分まで、時	分
月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 日 日まで 時 分から 時 分まで 月 日まで 時 分から 時 分まで 月 日まで 時 分から 時 分まで 日 日まで 時 分ずら 時 分まで 日 日まで 日 日 分から 日 日まで 日 日 分から 日 日 分まで 日 日 分から 日 日 からまで 日 日 から 日 日 日 から 日 日 日 日		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分から 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 日 日 日 日				分まで、時	分
月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まっ 時 分まで 時 分まで 月 日まっ 時 分まで 時 分まで 月 日まっ 時 分まで 時 分まで		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日から 時 分まで ちょう		取消し		分まで、時	分
月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分から 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分から 時 分まで 時 分から 日 日まで 時 分から 時 分まで 日 日から 時 分まで 時 分から 日 日から 時 分まで 時 分から 日 日から 時 分まで 時 分から 時 分から 時 分から ちょう けい でき かまで けい かい でき かきで けい かい でき かきで けい かい でき かきで けい かい でき かきで けい かい いい かい いい かい いい かい いい いい いい いい いい いい		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分から 時 分から 日 日まで 時 分から 時 分まで 日 日から 時 分から 時 分まで 日 日から 時 分から 時 分まで 日 日から 時 分から 日 日まで 時 分から 時 分まで 時 分から 日 日まで 時 分から 時 分から 日 日本で 時 分から 時 分まで 時 分から 時 分まで 時 分から 時 分まで 時 分から 時 分から 時 分から 時 分まで 時 分から けい はい かいり はい かいり けい かいり けい かいり けい かいり けい かいり けい かいら けい かいり けい かいら かいら かいら かいら かいら かいら かいら かいら かいら かい		取消し		分まで、時	分
月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで で は かまで に かまで に かきで に かから に に かきで に は は は は は は は は は は は は は は は は は は		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分から 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで ちょ かまで 時 分よで ちょ かき で ちょ かき かき で ちょ かき で ちょ かき かき で ちょ かき で ちょ で ちょ かき かき で ちょ かき で ちょ かき かき で ちょ かき かき で ちょ かき で ちょ から に かき で ちょ かき で ちょ から に かき から に から に		取消し		分まで、時	分
月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 日 分まで 時 分まで		変更		分から、時	間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 日 日まで 時 分まで ちょ かまで ちょ かま で は かま で けい こうしゅう かい いい かい いい かい いい いい かい いい いい いい いい いい		取消し		分まで、時	分
月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分まで 月 日まで 時 分まで ちゅうやら ちゅうやい		変更		分から 時	時間
月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 時 分まで 時 分から 日 日まで 時 分から 時 分から 時 分から 時 分から 時 分から ちょ かまで ちょ かまで ちょ かまで ちょ かまで ちょ かまで ちょう かまで ちょう かまで ちょう かまで ちょう かまで ちょう かまで ちょう から ちょう から ちょう から ちょう かまで ちょう かまっち しょう かいしょう しょう かいしょう しょう かいしょう しょう かいしょう かいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう		取消し		分まで、時	分
月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分から 時 分まで 月 日まで 時 分から 時 分から 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日まで 時 分まで 時 分まで 日 ロキャ 時 分から 時 分から		変更		分から 時	時間
月日から 時分から 時分から し 月日まで 時分まで 時分まで 月日から 時分から 時分から し 月日まで 時分まで 時分から 日日まで 時分まで 時分まで 月日から 時分から 時分まで 日日まで 時分から 時分から 日日まで 時分から 時分から		取消し		分まで: 専	分
し 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から し 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 日 日本で 時 分せで 時 分せで		変更		分から 専	時間
月 日から 時 分から 時 分から し 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 日 日まで 時 分から 時 分から		取消し		分まで! 時	分
し 月 日まで 時 分まで 時 分まで 月 日から 時 分から 時 分から 日 日本で 唐 分キで 唐 分キで		変更		分から、時	時間
月 日から		取消し		分まで、時	分
コーカー コーカー コーコー コー コー コー コー コーコー コーコーコー コーコーコーコー		変更	ш	分から、時	時間
(一時強	ш	平	分

(第3面) 第1号子育て部分休暇の承認の変更又は取消し

(第4面)
第2
2 号子育で部分休暇の承認の請求
1,1

	時間	時間	分から	再基		
	i A	分 分	がま分りませ	平		
	罪罪	平置	分から	罪		
		が見	分がいた。	平石		
	四共	時間	ひまで	# 4		
	西回	西	ながなり	平 平		
	THE ST	*************************************	分まで	本 4		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	丰		
	時間	時間	分から	畢		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	畢		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	帮		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	畢		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	乖		
	時間	時間	分から	郡		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	丰		
	時間	時間	分から	郡		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	郡		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	再		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	平		
	時間	時間	分から	畢		
	分	分	分まで	郡		
	時間	時間	分から	平		
	分	分	分まで	專		
	時間	時間	分から	丰		
3	7 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	請求時間数	噩	平	Я н	月日
が無が	秀計間数					_

附 則

- 1 日から施行する。 この規程は、 令和七年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、 同年七月
- 2 正後の規程第三十四条に規定する部分休業の請求等は、改正後の規程の規定の例によ この規程による改正後の東京都水道局職員の勤務時間、 (以下「改正後の規程」という。)第三十二条の三に規定する子育て部分休暇及び改 この規程の施行の日前においても行うことができる。 休日、 休暇等に関する規程
- する場合における改正後の規程第三十四条第二項第二号の適用については、当該各号 請求する場合における改正後の規程第三十二条の三第二項第二号及び部分休業を請求 「五を」とする。 この規程の施行の日から令和八年三月三十一日までの間における子育て部分休暇を 「七十七時間三十分」とあるのは「三十八時間四十五分」と、「十を」とあるのは

3

とができる。 第八号様式による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用するこ 休暇等に関する規程別記第一号様式、別記第四号様式の二、別記第六号様式及び別記 この規程の施行の際、この規程による改正前の東京都水道局職員の勤務時間、 休日、

●東京都水道局管理規程第二十一号

程を次のように定める。 東京都水道局会計年度任用職員の勤務時間、 休暇等に関する規程の一部を改正する規

令和七年六月三十日

東京都水道局長 Щ \Box

真

東京都水道局会計年度任用職員の勤務時間、 休暇等に関する規程の一部を

改正する規程

都水道局管理規程第六号)の一部を次のように改正する。 東京都水道局会計年度任用職員の勤務時間、 休暇等に関する規程(平成二十七年東京

定められた勤務時間」と、 第二十八条中「同条第二項中「正規の勤務時間」とあるのは「申請する職員について を 「同条第二項第一号中」 に、 「当該」 を 「申請する職員

間三十分 について」に、 条第八項」に改める の勤務日一日当たりの勤務時間数に十を乗じて得た時間)」とあるのは たりの勤務時間数に十を乗じて得た時間」と、同条第五項」に、 (定年前再任用短時間勤務職員にあっては、 「次項」 を 「第五項」 に、 「同条第三項」を 当該定年前再任用短時間勤務職員 「同項第二号中 「同条第四項」を 「勤務日一日当 「七十七時 同

員について」に改め、 の所定の勤務日数が十一日以上又は一年間の所定の勤務日数が百二十一日以上である職 第二十九条中「所属長が」を「所属長は、 「職員については、第二十七条の規定を準用する」を削る。 一週間の所定の勤務日数が三日以上、 月

則

1 この規程は、 から施行する。 令和七年十月一日から施行する。ただし、 次項の規定は、 同年七月

2 求等は、改正後の規程の規定の例により、 この規程による改正後の東京都水道局会計年度任用職員の勤務時間、 (以下「改正後の規程」という。) 第二十八条に規定する子育で部分休暇の請 この規程の施行の日前においても行うこと 休暇等に関す

3 請求する場合における改正後の規程第二十八条の規定の適用については、 を乗じて得た時間」」とあるのは「五を乗じて得た時間」 この規程の施行の日から令和八年三月三十一日までの間における子育て部分休暇を 」とする。 同条中 十

規 程 (下水)

●東京都下水道局管理規程第二十号

程を次のように定める。 東京都下水道局企業職員の勤務時間、 休日、 休暇等に関する規程の一部を改正する規

令和七年六月三十日

東京都下水道局長 橋 知

東京都下水道局企業職員の勤務時間、 休日、 休暇等に関する規程の一部を

改正する規程

東京都下水道局企業職員の勤務時間、 休日、 休暇等に関する規程 (平成七年東京都下

> 水道局管理規程第二号) 0) 一部を次のように改正する。

第三十一条の二第四項中 「次条」を「次条第三項」に、 「第三十四条」を 「第三十 四

条第四項」に改める。

該子育で部分休暇に係る子以外の子に係る子育で部分休暇を承認しようとする」を「が 項」を「第九項」に、 の次に次の二項を加える。 「子育て部分休暇」を「第 同条中第六項を第十項とし、第五項を第九項とし、第四項を第八項とし、同条第三項中 第六項の規定による変更をした」に改め、同項第三号を削り、同項を同条第十一項とし、 条中第九項を第十三項とし、第八項を第十二項とし、同条第七項第二号中「について当 第三十一条の三第一項中 「第八項」を「第十二項」に改め、 一号子育て部分休暇」に改め、 一部 を「全部又は一部」に改め、 同項を同条第十四項とし、 同項を同条第五項とし、 同条第十項中 第 同項 同

6 居したことその他の同項の規定による申出時に予測することができなかった事実が生 容を変更することができる。 が負傷又は疾病により入院したこと、配偶者又はパートナーシップ関係の相手方と別 じたことにより当該申出の内容を変更しなければ当該職員の当該申出に係る子の養育 に著しい支障が生じると所属長が認める特別の事情がある場合に限り、当該申出の内 第二項の規定による申出をした職員は、 配偶者又はパートナーシップ関係の相手方

7 することができる 変更をした場合にあっては、 第二項の規定による申出をした職員は、 その変更後のもの)において、子育て部分休暇の請求を 当該申出をした範囲内 (前項の規定による

項を同条第三項とし、 る子育て部分休暇(以下「第一号子育て部分休暇」という。)」に改め、 務時間の始め又は終わりにおいて、一日につき二時間を超えない範囲内で」を削り、 第三十一条の三第二項中「子育て部分休暇」を「前項第一号に掲げる範囲内で請求す 同項の次に次の一項を加える。 「、正規の勤 同

4 を承認することができる。 休暇」という。)の承認は、 に掲げる場合にあっては、 第二項第二号に掲げる範囲内で請求する子育て部分休暇 それぞれ当該各号に定める時間数の第二号子育て部分休暇 一時間を単位として行うものとする。 以 下 「第二号子育て部分 ただし、次の各号

東

改める。

範囲内の時間に限る。)」を「全部又は一部」に改め、

同条第二項第一号を次のように

当該勤務時間の全てについて承認の請求があったとき 当該勤務時間の時間数一 一回の勤務に係る日ごとの勤務時間に分を単位とした時間がある場合であって、

残時間数の全てについて承認の請求があったとき 当該残時間数 二 第二号子育て部分休暇の残時間数に一時間未満の端数がある場合であって、当該

第三十一条の三第一項の次に次の一項を加える。

期間における子育て部分休暇を請求するかを所属長に申し出るものとする。での期間ごとに、あらかじめ、次の各号に掲げる範囲内のうちいずれの範囲内で当該2 子育て部分休暇の請求をしようとする職員は、四月一日から翌年の三月三十一日ま

一日につき二時間を超えない範囲内

5

第四項とし、

同項の次に次の一項を加える

じ。)

前再任用短時間勤務職員を除く。次項を除き、以下この条及び次条において同前再任用短時間勤務職員を除く。次項を除き、以下この条及び次条において同年間の所定の勤務日数が百二十一日以上である非常勤職員以外の非常勤職員(定年一 一週間の所定の勤務日数が三日以上、一月の所定の勤務日数が十一日以上又は一

同項を同条第七項とし、同項の次に次の二項を加える。とし、第六項を第十項とし、同条第五項中「部分休業」を「第一号部分休業」に改め、した」に改め、同項第三号を削り、同項を同条第十二項とし、同条中第七項を第十一項とし、に改め、同項第三号を削り、同項を同条第十二項とし、同条中第七項を第十一項を開入項の規定による変更を

居したことその他の同項の規定による申出時に予測することができなかった事実が生が負傷又は疾病により入院したこと、配偶者又はパートナーシップ関係の相手方と別8 第三項の規定による申出をした職員は、配偶者又はパートナーシップ関係の相手方

11

更することができる。に著しい支障が生じると所属長が認める事情がある場合に限り、当該申出の内容を変に著しい支障が生じると所属長が認める事情がある場合に限り、当該申出の内容を変更しなければ当該職員の当該申出に係る子の養育じたことにより当該申出の内容を変更しなければ当該職員の当該申出に係る子の養育

変更をした場合にあっては、その変更後のもの)において、部分休業の請求をするこ第三項の規定による申出をした職員は、当該申出をした範囲内(前項の規定による

9

とができる

「第一号部分休業」という。)」に改め、「の始め又は終わり」を削り、同項を同条、同条第三項中「部分休業」を「前項第一号に掲げる範囲内で請求する部分休業(以第三十四条第四項中「部分休業」を「第一号部分休業」に改め、同項を同条第六項と

できる。(おきに関げる範囲内で請求する部分休業(以下「第二号部分休業を承認することがう。)の承認は、一時間を単位として行うものとする。ただし、次の各号に掲げる場の、第三項第二号に掲げる範囲内で請求する部分休業(以下「第二号部分休業」とい

数の全てについて承認の請求があったとき 当該残時間数 一 第二号部分休業の残時間数に一時間未満の端数がある場合であって、当該残時間 当該勤務時間の全てについて承認の請求があったとき 当該勤務時間の時間数 一 一回の勤務に係る日ごとの勤務時間に分を単位とした時間がある場合であって、

第三十四条第二項の次に次の一項を加える。

おける部分休業を請求するかを所属長に申し出るものとする。間ごとに、あらかじめ、次の各号に掲げる範囲内のうちいずれの範囲内で当該期間に3.部分休業の請求をしようとする職員は、四月一日から翌年の三月三十一日までの期

一日につき二時間を超えない範囲内

一日当たりの勤務時間数に十を乗じて得た時間)を超えない範囲内 一年につき七十七時間三十分(非常勤職員にあっては、当該非常勤職員の勤務日

別記第五号様式銕中「第31糸の3」を「第31糸の3第3項」に、「第34糸」を34糸第4項」に改める。

別記第六号様式を次のように改める

都

東 京

 $\stackrel{\text{(i)}}{\boxplus}$ 2

1 請求に当たっては、母子健康手帳、住民票等を提示すること。
2 請求に係る子について、職員以外の当該子の親が子育て部分休暇等の制度の適用を受けている場合は、「4 備考」欄に記入すること。
3 第1号子育て部分休暇の承認の請求の場合は第2面、第2号子育て部分休暇の承認の請求の場合は第4面を用いること。
4 第1号子育で部分休暇の承認について、職員の請求に基づき変更又は取消しを行った場合は、その旨を第3面に記入すること。
5 該当する□には、レ印を記入すること。

第6号様式 (第31条の3関係) (第1面)

子育て部分休暇の請求に係る申出

1

(第2面)

第1号子育で部分休暇の承認の請求

	+
	I)
	d
	퍉
	K
	K
	费
	承
	킳
	井
	×

4		c	υ		Г.	D		Н		14			
備考	変更 (第2回目)	1	変更 (第1回目)	}	# E	-		請求に係る子		次のとおり子育て部分休暇の承認を請求します。			(所属長)
	月日	変更月日	Я П	変更月日	月日	申出月日	生年月日	続柄	氏 名	#分休暇の承認			
		申出の内容 (①又は②)		申出の内容 (①又は②)		申出の内容 (①又は②)				を請求します		澱	
		変更が必要な事情		変更が必要な事情	②1年(こつき77時間30分(非常) 務日1日当たりの勤務時間数(て得た時間)を超えない範囲内	※申出の内容(変更 ①1日につき2時間	年 月			0	氏名	所 属	申出対象期間
		制度 の有無 ・ 承認権者		柳城 承認権者	② 1年につき77時間30分 (非常蜘蛛員は蜘務日 1日当たりの勤務時間数に10を乗じて得た時間)を超えない範囲内	申出の内容(変更後の内容も共通) 1日につき2時間を超えない範囲内	日生						年度

(日本産業規格A列4番)

										ЯП	請水
											*
Д	足足	正正	此此	此	正正	正正	此此	正正	正正		
日から	田 は な で で	田 サ ゆ の の の の	田からかい	田からかま	H S S S S	田 ま す ろ ひ	はない。	H H V V V	おかまり	期	子
<u> </u>	~ 🗆 🗆	~	~ 🗆 🗆	~ 🗆 🗆	~ 🗆 🗆	~ 🗆 🗆	~	~	~	噩	野て部
毎 日 その他)	田田舎の合	無 田 B (田の色の	年 田 高 (年 田 高 (田の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色の色	年 田 高 (年 田 の 合)	年 田 多 (子育て部分休暇の承認の請求をする期間
事 專	平 平	平 平	平 平	平 平	平 平	表 罪	平 平	平 平	平 平		(認の請求
分から 分まで	分がなる。	分から分まで	分からかまた	分がなった。	分から分まで	分から分まで	分からかまた	分がなった。	分からかまで	專	をする期
報 帮	事 事	事 型	平 平	事 毕	平 平	平平	事 事	平 平	平 平	噩	噩
分から 分まで	分から分まで	分から分まぐ	分から分まで	分から分まで	分から分まで	分から分まで	分から分まで	分から分まで	分から分まで		
										本政権由	本 勞除使

分から 分まで

分から 分まで 分から 分まで

時間数

承認権者

																																			\neg
																																	月日	請求	(第3面)
政治し	取消し	製造し	変更	取消し	外景	野ノ 大田	取消し	変更	取消し	変更	関判し	が、単元	要 漢 更 声 通	取消し	数更	取消し	変更	変更取消し	取消し	変更	変更 取消し	取消し	淡更	要 漫 更 消し	取消し	変更	要 展 更 画 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川	取消し	※ 更	要消し	東西し	東溪東	Į	⊼	第1号
月 日まで			月 日 日 ち ち た ん た ん た ん た ん た ん ん ん ん ん ん ん ん ん		日日から、								用用でで								月 日から 月 日まで		∏ ½¹	月 日 りま 日 ま た		月 日から	月 日 で で ま 日 ま た で			E E		月日から	期間	変更又は取消し	子育で部分休暇の
時 分まで		事 分まで	,.		"	単年分から	"		時 分まで		時間のおびなった。													報のながのおりません。			事 お分さの	"	· 分分	はい分割のできる。	おりまた。	 分分 	平	は取消しを行った	1号子育て部分休暇の承認の変更又は取消し
事 4	4 年 3	罪 罪	平平	平	# J	群 罪	平	. 平	平	邿	平 4	7 3	平平	平	平	專	华	平平	平	轴	再平	平	平	再平	平	專	平 平	平	罪		7 4	平平	囲	日・時間	取消し

分分分分からでしているで

分から分また 分から分また

請米	子育て部と	子育て部分体暇の承認の請求をする期間	てをする期間	4米目目士D 457	为 医三亚
月日	ЯП	時間	請求時間数	秀時间級	承憑編句
		時 分から	時間	問却	
	<u></u>	時 分まで	分	分	
			間細	時間	
			分	分	
			時間	時間	
			1±.88	77 III: III	
		単年 分がら	な	四位	
			時間	理!	
			分	分	
			時間	間組	
			分	分	
			間細	間	
		時 分まで	分	分	
			時間	間細	
			分	分	
		時 分から	開轴	間組	
			分	分	
			間細	間争	
		時 分まで	分	分	
		時 分から	開組	間組	
		時 分まで	分	分	
		時 分から	時間	時間	
		時 分まで	分	分	
			間細	間細	
		時 分まで	分	分	
		時 分から	間細	問律	
			分	分	
		時 分から	時間	時間	
		時 分まで	分	分	
			時間	時間	
			分	分	
		時 分から	時間	時間	
			分	分	
			時間	時間	
			分	分	
			時間	10年10日	
			分	分	
		時 分から	時間	時間	
			分	分	
		時 分から	時間	時間	
_			D.	Þ	

(第4面) 第2号子育で部分休暇の承認の請求

附 則

1 この規程は、 から施行する。 令和七年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、 同年七月一

2 例により、 及び改正後の規程第三十四条に規定する部分休業の請求等は、 この規程による改正後の東京都下水道局企業職員の勤務時間、 (以下「改正後の規程」という。) 第三十一条の三に規定する子育て部分休暇 この規程の施行の日前においても行うことができる。 改正後の規程の規定の 休日、休暇等に関す

3 する場合における改正後の規程第三十四条第三項第二号の適用については、 請求する場合における改正後の規程第三十一条の三第二項第二号及び部分休業を請求 この規程の施行の日から令和八年三月三十一日までの間における子育て部分休暇を 「七十七時間三十分」とあるのは「三十八時間四十五分」と、 「十を」とあるのは 当該各号

4 この規程の施行の際、この規程による改正前の東京都下水道局企業職員の勤務時間! 休暇等に関する規程別記第五号様式及び第六号様式による用紙で、現に残存す 所要の修正を加え、なお使用することができる。

規程を次のように定める。

●東京都下水道局管理規程第二十一号

東京都下水道局会計年度任用職員の勤務時間、 休暇等に関する規程の一部を改正する

令和七年六月三十日

東京都下水道局長 藤 橋 知

東京都下水道局会計年度任用職員の勤務時間、 休暇等に関する規程の一 部

を改正する規程

京都下水道局管理規程第七号)の一部を次のように改正する。 東京都下水道局会計年度任用職員の勤務時間、 休暇等に関する規程 (平成二十七年東

定められた勤務時間」と、 について」に、 第二十九条中「同条第二項中「正規の勤務時間」とあるのは 「次項」を 「第五項」 を「同条第二項第一号中」に、 に、 「同条第三項」を 「当該」 「同項第二号中「七十七時 「申請する職員について を 「申請する職員

> の勤務日一日当たりの勤務時間数に十を乗じて得た時間)」とあるのは 条第八項」に改める。 たりの勤務時間数に十を乗じて得た時間」と、同条第五項」に、 三十分 (定年前再任用短時間勤務職員にあっては、 当該定年前再任用 「同条第四項」 短時間勤務職員 「勤務日一 を 日当 同

所定の勤務日数が十一日以上又は一年間の所定の勤務日数が百二十一日以上である職員 について」に改め、 第三十条中 「所属長が」を「所属長は、一週間の所定の勤務日数が三日以上、 「職員については、第二十八条の規定を準用する」を削る。 月

則

1 日 この規程は、 から施行する。 令和七年十月一日から施行する。ただし、 次項の規定は、 同年七月

2 とができる。 する規程(以下「改正後の規程」という。)第二十九条に規定する子育て部分休暇の 請求等は、改正後の規程の規定の例により、 この規程による改正後の東京都下水道局会計年度任用職員の勤務時間、 この規程の施行の日前においても行うこ 休暇等に関

3 を乗じて得た時間」」とあるのは、 請求する場合における改正後の規程第二十九条の規定の適用については、 この規程の施行の日から令和八年三月三十一日までの間における子育て部分休暇を 「五を乗じて得た時間」」とする。 同条中「十

令 議

訓

●東京都議会議長訓令第三号

京 都 議 会 議 会 局

東京都議会議会局会計年度任用職員の勤務時間、 休暇等に関する規程 (平成二十七年

の一部を次のように改正する。

令和七年六月三十日

東京都議会議長訓令第五号)

東京都議会議長 増 子 ひ ろ

について」に、 定められた勤務時間」と、」 第二十九条中 「同条第一項中「正規の勤務時間」とあるのは「申請する職員について 「次項」を 「第四項」 を 「同条第 に、 項第一号中」に、 「同条第二項」を 「当該」 「同項第二号中「七十七時 を 「申請する職員

条第七項」に改める。 たりの勤務時間数に十を乗じて得た時間」と、 の勤務日 間三十分 一日当たりの勤務時間数に十を乗じて得た時間)」とあるのは (定年前再任用短時間勤務職員にあっては、 同条第四項」 当該定年前再任用短時間勤務職員 に、 「同条第三項」を 「勤務日 二日当

いて」に改め、 の勤務日数が十一日以上又は一年間の所定の勤務日数が百二十一日以上である職員につ 第三十条中「議長が」を「議長は、 「職員については、第二十八条の規定を準用する」を削る。 一週間の所定の勤務日数が三日以上、 一月の所定

則

1 日 この訓令は、令和七年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、同年七月一 から施行する。

2 ことができる。 関する規程 の請求等は、改正後の規程の規定の例により、この訓令の施行の日前においても行う この訓令による改正後の東京都議会議会局会計年度任用職員の勤務時間、 (以下「改正後の規程」という。) 第二十九条に規定する子育て部分休暇 休暇等に

3 を乗じて得た時間」」とあるのは、 請求する場合における改正後の規程第二十九条の規定の適用については、 この訓令の施行の日から令和八年三月三十一日までの間における子育て部分休暇を 「五を乗じて得た時間」」とする。 同条中「十

雑 報

東京都職員共済組合の職員に関する規程の一 部を改正する規程を公布する。

令和七年六月三十日

東京都職員共済組合

理事長 栗 岡 祥

●東京都職員共済組合規程第九号

東京都職員共済組合の職員に関する規程の一部を改正する規程

東京都職員共済組合の職員に関する規程(平成七年東京都職員共済組合規程第八号)

部を次のように改正する。

0)

第二十七条の三第一 項中 部 を 「全部又は一部」に改める。

15

別記第八号様式を次のように改める

第8号様式(第27条の3関係

(第1面) 子育て部分休暇の請求に係る申出

同

1.
4
4
兴
谷
*
愚
承
NA.
*
I

4		С	٥		N.	0		\vdash				l	
備考	変更 (第2回目)	* #	変史 (第1回目)	計	H B	1 E		請求に係る子		次のとおり子育て部分休暇の承認を請求します。		東京都職員共済組合理事長	
	Я н	変更月日	Д Н	変更月日	ЯВ	申出月日	生年月日	続柄	氏 名	部分体暇の承認		合理事長	
		申出の内容 (①又は②)		申出の内容 (①又は②)		申出の内容 (①又は②)				を請求します。		骤	
		変更が必要な事情		変更が必要な事情	②1年につき77時間30分(非常動職員は動務日1日当たりの勤務時間数に10を乗じて得た時間)を超えない範囲内	※申出の内容(変更後の内容も共通) ①1日につき2時間を超えない範囲内	年 月				氏 名	別 風	申出対象期間
		^{特別次輔} 承認権者		^{特別な輔} 承認権者 の有無	80分(非常動職員は勤 務時間数に10を乗じ ない範囲内	後の内容も共通) を超えない範囲内	日生						年度

(H) 請求に当たっては、母子健康手帳、住民票等を提示すること

受けている場合は、「4 備考」欄に記入すること。 請求に係る子について、職員以外の当該子の親が子育て部分休暇等の制度の適用を

の請求の場合は第4面を用いること 第1号子育で部分休暇の承認の請求の場合は第2面、 第2号子育で部分休暇の承認

4 第1号子育て部分休暇の承認について、職員の請求に基づき変更又は取消しを行っ た場合は、その旨を第3面に記入すること。

該当する□には、レ印を記入すること。

(日本産業規格A列4番)

用用

できまるかの

 $\overline{}$

年 の 合 (

群 郡

分から分まで

時 時

分から分まで

田田

田かので

 $\overline{}$

無 田 の 合 (

事 專

分から分まで

##

分から分まで

 $\mathbb{H} \; \mathbb{H}$

田からで

 $\overline{}$

無 の き (

時 時

分から分まで

時時

分から分まで

耳耳

田まるので

 $\overline{}$

無 円 の 色 (

時 時

分から 分まで

群 群

分から分まで

月 月 日 日

猫

噩

噩

承認権者

子育て部分休暇の承認の請求をする期間

 \mathbb{H}

田まるので

 $\overline{}$

年 日 合 (

時 時

分から分まで

時 時

分から分まで

 \mathbb{H}

田からでまって

 $\overline{}$

年 の の 合 (

事 專

分から分まで

事 專

分から分また

田田

田からかまりで

 $\overline{}$

年 田) (

群 群

分から分まで

平 平

分から分まで

田田

日本ののまで

 $\overline{}$

無 田 の 色 (

時 時

分から

時 時

分からかまか

用用

田がので

 $\overline{}$

無 の き (

中 中

分から 分まで

時時

分から分まで

 \mathbb{H}

できまりない

 $\overline{}$

年 田 合 (

群 群

分から分まで

時 時

分から分また

(第2面)
第1号子育で部分体暇の承認の請求

(第3面)

第1号子育で部分休暇の承認の変更又は取消し

																																									Ян	
政治し		政治し	車	五溢!	麥更	取消し	変更	取消し	淡更	取消し	微画	取消し	変更	取消し	変更	取消し	変更	取消し	変更	取消し	淡 更	取消し	変更	取消し	変更	取消し	変更	取消し	変更	取消し		受消し	※ 画	野沿し	事事	政治し	が出って	义 治 光	大田田口	変更		区分
ш	= Z	ш ;	<u>.</u>	ш	Ш	Д	Э	Я	Д	Я	Д	Я	Э	Я	Э	Э	Э	Э	Д	Я	Э	Э	Э	Д	Э	Д	Ы	Д	Я	Э	Ы	」	ы.	ш 2	ш :	ш	ш 2	п Ъ	- 2			
… でまい つで	II I	ま 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	日から 。	♪ ## == :	34 34 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3	まが	日から	日 が か	日から	でき	日から	がまり	日から	田また	日から	でまる	日から	でま	日から	に ま で	日から	≡ ₩	日から	田まん	日から	田 ま る	日から	日 ま た	名は田	E W W	日から	は ま に に に に に に に に に に に に に に に に に に	日から		1 3 ck	I III	田 か ら く	% € 6 + 1 = =	94 Y	いない	月	
罪 是	# 3	罪.	罪,	罪,	平	平	平	平	平	平	平	平	罪	平	專	平	平	平	平	平	平	平	平	平	平	罪	罪	平	平	罪	平	平,	罪	# 3	罪,	罪 3	T 2	# 4	7 4	# #		
ひまかりませ		が会して	かから	かまかって	分から	かまな	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まで	分から	分また	分から	分まで	分から	分また	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まか	分から	分まで	分から	かま分	分から	分乗分	分から	かった。	かから	か が ま か に た	なけなった	はいた。	7 7 7	なから	平	
基基	# 3	罪.	罪.	罪.	平	平	平	平	平	平	平	平	罪	平	乖	罪	瑘	平	平	平	乖	平	#	畢	罪	罪	罪	平	平	罪	平	平.	罪.	罪 3	罪 .	罪 3	罪 Z	# 4	# 4	車 車	噩	
ひまかったまかって		がまなった。	かから	なま分	分から	分ま分	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まで	分から	分ま分	分から	分まで	分から	分まで	分から	分まで	分から	がまなったが	分から	なまない	ななない	分まな	かかい	なまなる	7 F C	分から		
分	世間	; \$\phi_2	間報	A	間相	分	時間	分	西海	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	間細	分	時間	分	時間	分	間纬	公	時間	分	時間	分	時間	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	開組	Ē (‡	開報	<u>;</u>	開報	<u>₹</u>	77 77	問題		時間数
																																										承認権者

(第4面)

第2号子育で部分休暇の承認の請求

																																					ДН Д П
事 分かの 事 分から					は なまな 型 なまな									単年 分割りて		早 分から			時 分まで		事 分まぐ		本 子 分がのできない				時 分から	時分まで		事 多 さいこう	群 なさい					時 分から	郡
時間	分	時間	ж Э	平平	時間分	77	- 開	分	時間	分	時間	; \$\phi\$	開報	中国	77	問記	分	時間	分	時間	· 分	開開	時間分	7	時間	分	開轴	分	事	で 分		時間	分	時間	分	時間	請求時間数
時間	9	間組	分 分	群間	母	77	郡二	分	時間	分	時間	E CE	開報	野田	#### ##	型	· 分	時間	分	時間	E CE	問報	時間分	(K)	時間	分	時間	公	間押	10000000000000000000000000000000000000	時間	郡三	· 分	時間	分	時間)
																																					E E

附 則

1 この規程は、令和七年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、同年七月一

ができる。 規定する子育で部分休暇に係る請求等は、この規程の施行の日前においても行うこと 日から施行する。 この規程による改正後の東京都職員共済組合の職員に関する規程第二十七条の三に この規程の施行の際、この規程による改正前の東京都職員共済組合の職員に関する

2

3

用することができる。

規程別記第八号様式による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使